

こまえ



公民館 だより

第 38 号
2016
(平成 28 年)
3 / 31

発行 狛江市公民館

西河原公民館

〒201-0013 狛江市元和泉2-35-1
TEL / 03-3480-3201
FAX / 03-3480-3203
E-mail nishikou@city.komae.lg.jp

中央公民館

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
TEL / 03-3488-4411
FAX / 03-3480-3341
E-mail chukou@city.komae.lg.jp

—市民の関係づくりの拠点として—

今、公民館は？
現在公民館は、全国で1万5千館。1995年から4千館減っています。職員削減の中、1館あたりの講座数は増えており職員の多忙が伺えます。若年層の利用率、大都市圏での利用率が低いです。

社会関係資本への注目

社会関係資本とは、人と人とのつながり(ネットワーク)や、人と人との関係性(共有された規範、信頼)が重要であるという考え方で、「何を知っているか」よりも

そもそも公民館とは？
公民館は、戦後「民主主義」実現のための制度として、できるだけ地域のために、市民の自己学習・共同ワークの場としてつくられました。戦前からある図書館・博物館と違って、戦後できた新しい施設です。



3月12日(土)

地域への入り口としての 公民館

東京大学高齢社会総合研究機構の荻野亮吾さんを講師に招き、学習会を行いました。

公民館では、多くのグループや団体が活動しています。様々なグループの活動が結びつき、人間関係が広がり、地域の活動へと発展していくために、大切なことは何でしょうか？公民館の歴史を振り返りつつ、一緒に考えてみました。

「誰を知っているか」が大事です。一人ではできないこと、困難なことを可能にする資源です。社会関係資本が豊かな地域は、そうでない地域よりも政治や経済、治安、健康の状態でよくなる傾向があることが知られています。公民館の活動が力を発揮できるところです。

「シブヤ大学」柏市「Keno」の活動

渋谷区の事例では、地域の自治体、企業とNPOが協力して、ユニークな講座を組織することによって、「関心」「趣味」を縁にした、新しいグループづくり・人間関係づくりが可能となっています。若者が多数参加することで、新たなサークルやプロジェクトの動きへとつながっています。

柏市の事例では、孤立しがちなシニア世代に対して、外出の契機となる講座を開催するだけでなく、「趣味」を縁にした新たなグループを組織しています。多様な入り口を設けることで、次のステップへと進むシニア世代も増えてきています。

どちらも、コンセプトを明確にし、様々な連携に基づき魅力的な講座や事業を実施し人々を集め、人間関係をもとに自主的な活動を組織していくという方法です。



お話を聞いたあと、身近な活動を組み合わせてみるグループワークをしました。防災活動とレクリエーション・簡単調理などを組み合わせやすく企画する提案や高齢化で発表の場に作品を運ぶことの困難さ、一人でも発表の場に貢献できるしくみなどの課題が出されました。なにより、知らないメンバー同士で話し合うことが、つながるの一歩となりました。



2月27日(土)・28日(日) / 3月5日(土)・6日(日)開催

いべんと西河原! 参加:69団体

両館実行委員会から報告します!

第27回いべんと西河原
実行委員長 三浦トハコ 狛江 岡本明



第27回いべんと西河原が終わりでしたが、振り返ると私は先輩から引き継ぎ、第21回から実行委員長を担当させて頂き今日に至っております。その頃から参加団体は毎年約70団体の方々が発表の場として利用し、多くのご来場者でにぎやかが続いています。

いべんと西河原は作品展示と、ホールを活用した舞台での発表に分かれ、プログラムができています。作品の展示部門では毎年うまい具合に各部屋がおさまり、トラブルも見られず、スムーズに進行されています。

舞台発表部門ではこれまでも様々な課題解決に取り組んできました。

ひとつは、舞台での発表プログラムでした。各サークルの希望は屋敷の時間帯が多く、苦勞していましたが、サークル数の多いカラオケサークルをひとくくりにし、毎年、前半・後半に変えることとし、了解して頂きました。それに伴い、他の発表団体も前半、後半と移って頂きました。

次に、公民館の事務局が苦勞してきた受け付けの当番です。組み分けが大変難しいことを耳にし、私からの提案で発表日と一緒にせず、全サークルに分担して頂き、担当しなかつたサークルは次年度、優先的に担当することを納得して頂きました。(事務局から大変喜ばれました。)

残りの課題は舞台の進行スケジュールです。これまで各サークルの割り当ては舞台の準備、後片付けの時間を含めていましたが、実態は遅れ遅れとなり、不満も出ていました。併せてその事に伴う控室の利用にも影響が出ていました。

今回は、舞台の進行スケジュールの中に、時間調整枠を設けることによって、進行時間に余裕を持たせることができました。

最後になりますが、今回も公民館長はじめ、事務局の皆様のご協力ですmoothに無事終了することができました。有難うございました。

いべんと西河原に参加して
狛江シルクの会(手品) 小町典子

毎年、手品出演をさせていただき練習にも身が入り、今回は小学生2人も参加しての若々しい発表ができました。会場の客数も多くてやり甲斐があり嬉しく感謝しています。

当会は35年続いている手品の会で、老人ホームや老人給食会等でのボランティア活動もしています。練習は月1回、中央公民館で第2木曜日の午後6時半から行っています。会員募集中ですので見学にお越しください。お待ちしております。

大きな一歩

実行委員長・彩染工房 惣川ひさえ

第31回中央公民館のつどいは全員参加を呼びかけ、館内の飾り付けから片付けまで役員が中心になって進めました。懸案事項の宣伝活動の一端として、土曜にはフォークダンスグループの皆様にも市役所前広場で踊っていただき、楽しい雰囲気の中、来館された方々をお迎えできたと思います。最終日には玄関ロビーに作ったモザイク画の紙の一片を貼った男の子が、連れ立ってきた父親に自慢げに説明していたのを見て、とても嬉しく思いました。手探り状態で始めた今回は、連絡等不十分なところだらけでしたが、次に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。

活動が成長の場に

狛江市ときわ婦人会 西村裕子



参加:90団体
3月9日(水)~13日(日)開催

中央公民館のつどい!

当時、プレハブの集会所で活動しながら、公民館建設を市に陳情・請願されたグループの一つが「狛江市ときわ婦人会」です。長年公民館を支えてくださりありがとうございました。

狛江市ときわ婦人会は昭和35年4月に創立しました。中央公民館のつどいには第1回から参加しています。マジックたわしの講習は、平成20年度の第24回から始めました。アクリル100%の極太毛糸で編む洗剤不要の環境に優しい「たわし」です。一度使用するとその良さが実感できます。なお、私事になりますが、当婦人会は今回のつどいを最後の参加に、活動を終えさせていただきます。縁あって昭和29年に狛江に住み、積極的に社会教育に関わったことがどんなに私を育み成長させていたことかと改めて感謝いたします。

自分たちで企画する「猫プー」

家庭と社会のあいだにあるゆるやかなつながり

【活動日】毎週水曜日 午後7時～9時

【場所】中央公民館

こんなことをやってきました!

キャンプ、ヨガ、フリートーク
大道芸、外国人に教わる料理、etc.



いつでも来れる時に参加
一度来たらメンバー!!

猫プーとは私の人生を語る上で欠かせない存在です。猫プーに出会ったのは約2年前、通ってるフリースクールのキャンプで知りました。

最初は何か神経質なものもあるし雰囲気も閉鎖的かなと勝手に思い込んでいて。こことはこれっきりでもう関わることは無いだろうと一度は思いました。ですがあることから通うことになり、それはフリースクールの方から話を聴いてなんとなく『ダメモト』で行ってみようと思ったからです。行ってみるとそこはイメージとは全然違いそこは温かい講師と優しいメンバー、自分をそっと語らざとも受け止めてくれる場所になりました。

今では第二の家と家族のような存在です。 八代 希

大学に入った年の秋からスタートした猫プーも早3年以上が経過し、その当時は19歳の未成年だった自分は22歳になった。そして大学を卒業し、いよいよ4月からは社会人となる。正直な話をする、これから未知の世界への挑戦ということになるのだが、期待の大きい反面不安ももちろん大きい。それでも、この猫プーで培ってきた経験が生きてくれば、と考えている。ここでは大学では経験できなかったことを色々することが出来たので本当に良かったと思う。4月からは参加回数が減るかもしれないが、それでも引き続き参加できればと思っている。 高橋 拓也

日本語教室

外国から日本に来て、言葉の問題で日常生活に困っている方々のために、日本語学習を通して、日本と外国の互いの文化・風習・生活技術を学びあう場を開設します。

【対象】外国から泊江に来ている方

【開催日】4月9日～平成29年3月18日までの
原則毎週土曜日 午後7時～9時20分

【場所】西河原公民館

【申し込み】随時

【クラス】基本的には本人の希望ですが、先生と相談して決めます。

▽入門コース ▽一般コース ▽特別コース等

協力ボランティアも募集しています!

随時

【指導スタッフ】 【運営スタッフ】 【幼児担当スタッフ】

※いずれも指導経験や資格の有無は問いません。
国際交流に理解のある方。

4月2日(土) 午後7時から西河原公民館1階団体活動室で受け付けと説明会を開催します。

チャレンジ青年学級

学級生・ボランティア募集!

【活動日】原則として毎月第1・3日曜日
午前10時～午後4時

【場所】主に西河原公民館(軽スポーツは和泉小体育館で行うこともあります)

【内容】チャレンジ青年学級は、障がいのある青年たちが仲間とつどい・学び・遊び自分たちの暮らしを広げ豊かにしていこうという活動を展開しています。みんなで楽しく過ごしてみませんか? 全部の活動に参加するのが基本ですが、一部の参加でも大丈夫です。軽スポーツ・音楽活動・クラフト・キャンプ・スキー等いろいろな行事を計画しています。

お気軽に見学にお越しください!

【対象】市内在住・在勤の義務教育修了の障がいのある青年男女。通級可能で団体活動のできる方。

【参加費】無料(教材費・キャンプ・スキー等は実費負担があります)

西河原公民館



高津 宏子

わたしが担当です

西河原公民館に着任して約1年になります。

私の担当は女性セミナーで、今年度は親子向けのリトミックを取り入れました。

先生の奏でるピアノの音に合わせて、お母さんもお子さんも元気に体を動かし、笑顔いっぱい楽しく触れ合える人気のセミナーとなりました。

来年度は、また違った層の女性の方へ向けにも展開したいと考えていますので、ふるってご参加ください。

このセミナーが、公民館を知ってもらうきっかけになったり、活動している団体さんや参加者の方同士の交流の場になれば良いと思います。

また、公民館を訪れる方が気持ち良く利用できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

事業のお知らせ募集!

こまえ市民大学

各回とも土曜日の午後2時から、中央公民館で開催。
春も多彩な講座を企画しています。詳細は「広報こまえ」
(1日、15日発行)や市内の掲示板でお知らせします。

4月9日 (土)	「音楽は心のビタミン」 指揮者 榊原 徹さん クラシック音楽の聴き方、楽しみ方を指揮者・音楽プロデューサーとして活躍する音楽のコンシェルジュが楽しく解説。
4月30日 (土)	「天を測り地を量る」 国土交通省出身 国土館大学非常勤講師 海津 優さん 2018年は伊能忠敬没後200年。偉大な足跡をしのび、測量技術の進歩やスマホでお馴染みのGPSの世界をやさしく解説。
5月13日 (金)	課外講座 「バスで行く電力中央研究所横須賀運営センター見学とYOKOSUKA軍港めぐりクルーズ」 最新の研究の説明と施設を見学。横須賀港では、海から海上自衛隊と米軍の艦船を間近に見ます。

子どもの広場

【期間】5月から平成29年3月
までの年間15回程度。
水曜日に活動します。
【対象】小学校2・3年生
【定員】15人
【参加費】教材費5千円

工作・料理・レクリエーション等を通して学校・学年の枠を超えた仲間づくりを一年間かけて実施します。

野外サークル

【期間】5月から平成29年3月
までの土・日曜日(原則
月1回の活動で、年間
13回程度)
【対象】市内在住の小学校4年生以上
【定員】20人
【参加費】教材費5千円

キャンプの実技指導とハイキング等

中高生も参加できます!

平成28年度 公民館利用者懇談会

☆西河原公民館

日時：4月26日(火)
午前10時～午後7時～
場所：西河原公民館
学習室1

☆中央公民館

日時：4月28日(木)
午後2時～午後7時～
場所：中央公民館講座室

オープンに意見交換しましょう!
ふるってご参加ください。

公運審だよ!

◆今年度をふりかえって

副委員長 斎藤謙一

平成27年度は、私も初めて審議会委員になられた方が多く、館長からの諮問も無かったため、次年度への準備期間として、公民館の成り立ちや公民館の役割などの基礎的な学習をしました。

平成28年度は、諮問を受け、検討し合って答申を出すという審議会本来の仕事を行いたいと考えています。また、諮問がない場合も公民館がより充実するため、何らかの具申案を話し合っていきたいと考えています。

◆公運審委員になって

深井 秀造

自分は教育の専門家でも市民運動家でも地方行政の分析家でもなく、向こう三軒両隣に住むただの狛江市民ではない。ただあるとすれば、一方にへんさない市民目線だけである。

現在の公民館利用者は圧倒的に高齢者である。しかし狛江には児童・生徒が4,500人以上いるが、そのほとんどが公民館未利用で場所さえ知らないのが実情である。日常の勉強、受験対応等々もあるが、狛江の将来を託する子供達を公民館に誘い、常に子供達の明るい声が聞こえる公民館にしたいと切望している。自分には趣味を通じて知遇を得た50人の狛江市民がいる。この貴重な仲間の協力も得て、若者が市民センターに集まるよう微力を尽くしたい。

【平成27年度の狛江市立公民館運営審議会
報告・審議した主な内容】

第1回(4月15日)

- ・委員長及び副委員長の選任
- ・平成27年度狛江市立公民館運営審議会について
- ・東京都公民館連絡協議会の報告(以下毎回)

第2回(5月12日)

- ・公民館に関する基本的な学習
- ・公民館って、どんなところなの?<

第3回(8月3日)

- ・狛江市立公民館について(講師：伊東静一委員)
- ・利用者懇談会での意見等に対する対応状況について
- ・市民センターに関する意識調査の結果報告

第4回(11月9日)

- ・西河原公民館設備等改修に関する利用団体要望調査(集計結果)報告
- ・他市公民館に対する状況調査の結果報告
- ・関東甲信越静公民館研究大会の報告

第5回(2月8日)

- ・こまへの魅力創作展の実施状況報告
- ・公民館運営に関する課題等について討議
- *詳細は、狛江市HPで会議録をご覧いただけます。

【研修等への参加活動】

- ・東京都公民館連絡協議会委員会
第1回研修会(9月26日開催 狛江市)
- ・関東甲信越静公民館研究大会
(11月14日開催 小平市)
- ・東京都公民館連絡協議会委員会
第2回研修会(1月30日開催 狛江市)